

第2学年 総合的な学習の時間学習指導案

指導者 谷田川 明美 庄司 知世
大野 正博 沢畑 初恵
茂木 直美 永野 拓也

1 単元名 「夢をふくらまそう～夢の実現のために、自己を見つめよう～」

2 単元について

中学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編や中学校キャリア教育の手引きでは、職場体験学習を通して「働くことの意義や職業への理解を深める」ことを重視している。社会環境の変化が著しい現代社会において、生徒たちが夢や希望をもって自ら自分の未来を切り拓いていくためには、自己の生き方を主体的に考えることができるようにすることが大切である。

また、この時期の生徒は、興味・関心が自己から他者、社会認識へと広がる途上にあり、自己と他者や社会との適切な関係を構築していく力を身に付けることができるときでもある。

そこで2学年では、社会における自らの役割や将来の生き方・働き方についてしっかりと考えさせるとともに、職場体験学習や社会体験等の体験活動を通して、様々な気付きや理解を深めるために、目標を立てて計画的に取り組む態度も育成していきたい。特に、様々な体験等を通して勤労の意義や働く人々の様々な思いを理解することは、生徒が視野を広げ新たな自己の課題に気付き、よりよい生活や学習、生き方を目指して主体的に自己を見つめることにつながる。そして、学校生活と社会生活や職業生活を結び、関連付け、将来の夢と学業を結び付けることにより、次年度の進路の選択・決定へと導いていきたい。

3 生徒の実態（男52名、女54名、計106名）

（調査日10月26日 調査人数106名）

1 職場体験学習後に大きく変化したことは何ですか。 (複数回答)	回答(人)	2 学習と勤労とはどのようにつながっていると思いますか。 (複数回答)	回答(人)
ア 職業観の芽生え・勤労の実際の理解	79	ア 礼儀や社会的マナーを学ぶ	52
イ 挨拶や社会的マナーの大切さを実感	75	イ 社会人の必要な知識・常識を学ぶ	37
ウ 責任を果たす大切さを実感	71	ウ コミュニケーション力を付ける	10
エ 知識・技能を進路に活用しようと思	62	エ 自分の専門的な能力を高める	10
オ 夢や将来設計が広がった	55	オ 判断力・思考力等を高める	5
カ 人間関係の向上の大切さを実感	51	カ 自己の課題を克服し成長する	5
キ 進路学習への意欲が向上	40	キ その他	15
ク 学習全般への意欲が向上	33	ク 分からない	6

本学年の生徒は、8月に実施した職場体験学習後、自己と社会の双方について多様な気付きが見られるようになった。意識調査の問1、イ・ウ・カの回答から分かるように、約半数の生徒たちが社会人として必要なマナーや責任を果たすことの大切さやよりよい人間関係を築く大切さに気付くことができている。また、自己においても、問1、ア・エ・オの回答のように、職業について真剣に考え、将来の夢が広がり膨らんできていることも分かる。そのため問2では、学校での学習と働くこととのつながりを、アの礼儀や社会的マナーを学ぶと回答した生徒が多かったと考えられる。しかし、問1のク、学習意欲の向上は全体の3分の1にとどまり、問2のクのように、学習と働くこととを関連付けられない生徒も少なくない。

そこで、学ぶことと働くこととのつながりについて、事前に言語による整理・分析を行い仮説を立てることにより、各自の考えをもたせていく。また、学年全体でのパネルディスカッションでは、価値観の違う生徒をパネリストに選出し、全体での話し合いを進め、様々な視点から理解を深めさせたい。そして、ほぼ全員が、職場体験学習後に新たな課題を発見しているため、各自の課題にも着目させながら、前向きに自己の生き方について考えられるよう配慮したい。

4 キャリア教育の視点

- 友だちの意見や考えを大切にしながら話し合いを進めていく中で、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重する態度を身に付ける。【人間関係形成・社会形成能力】
- 職場体験学習を通して、自らの働くことに対する考え方や生活の在り方を見直し、日常生活に生かしていこうという意欲をもつ。【自己理解・自己管理能力】
- 職場体験学習を通して、働くことの意義を踏まえた具体的な目標を各自設定し、課題解決に向けて計画的に行動する。【課題対応能力】
- 学ぶことと働くこととのつながりについて理解を深め、自己の将来を考え、夢や希望をもつ。【キャリアプランニング能力】

5 目標

課題設定の能力	・職場体験に関連する活動から自己を見つめ新しい課題を設定することができる。
問題解決の能力	・職場体験に関連する多様な課題を、学習と働くこととのつながりを意識しながら解決することができる。
思考・判断・表現力	・職場体験に関連する活動を通して、働くことの意義について考えることができる。

6 指導計画（70時間）

- 第1次 未来予想設計図をつくろう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8時間
- 第2次 職場体験学習の計画を立てよう・・・・・・・・・・・・・・・・ 30時間
- 第3次 職場体験学習に出かけよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (夏季休業中)
- 第4次 職場体験学習の報告会をしよう・・・・・・・・・・・・・・・・ 14時間
- 第5次 職場体験学習のまとめをしよう・・・・・・・・・・・・・・・・ 4時間

月日	内容・活動	活動の場	指導・援助の留意点	教科等との関連	視点
11/8	(1)報告会を終えて働くことの意義をまとめる。	総合的な学習の時間	報告会で共有した学びから、深まった自分の考えを整理しまとめるようにする。	<特別活動> 「文化祭を成功させよう」	b,d

11/15	(2)働くことと学ぶことのつながりについて仮説を立てる。	総合的な学習の時間	今までの活動と結びつけて考えて各自仮説を立て、自分の考えをもてるようにする。	<道徳> 「勤労・奉仕」「理想の実現」	d
11/21 (本時)	(3)パネルディスカッションを行う。	総合的な学習の時間	異なる立場の意見交換を通して、気づきや理解を深められるようにする。	<国語> 「読解力のある提案をしよう」	d

第6次 自分たちにできることを計画しよう・・・・・・・・・・14時間

7 本時の指導

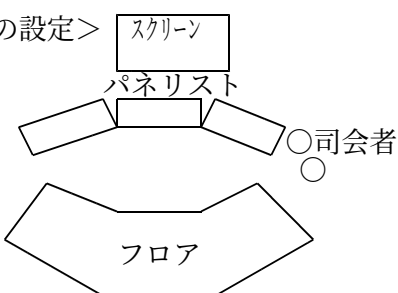
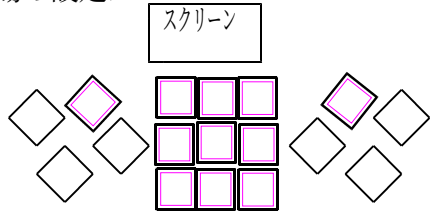
(1) 目 標

- 学ぶことと働くこととのつながりについて、友達の意見を聞くことにより理解を深めることができる。

(2) 準備・資料

掲示用学習課題①，掲示用進行表・諸注意②，ワークシート③，キーワードフリップ④，意識調査の結果⑤，

(3) 展 開

過程	学習内容・活動	指導上の配慮事項及び評価 ◆キャリア教育の視点	資料
導 入	1 本時の学習課題を知る。 「働くことと学ぶこととのつながり」について話し合ってみよう。	・職場体験学習の写真や事業所からの評価を提示し、話し合いに参加する意欲をもたせる。	①
	2 開会式(生徒による司会) (1) 開会の言葉 (2) 諸注意 (3) パネリストの紹介	・全体の進行・係り分担を決めておき、生徒主体の話し合いになるよう配慮する。 ・諸注意の掲示物を利用して発表させる。	②
展 開	3 パネルディスカッションを行う。 「働くことと学ぶこととのつながり」とは (1) パネリストによる討議 ・一人ずつ発表 ・パネリストによる質問及び意見交換 (2) フロアの生徒からの質問 (3) 全体での意見交換 ＜場の設定＞ 	・司会者の進行のもと発表を進めていく。 ・パネリストの価値観の違いに注目させる。 ・パネリストには、キーワードフリップや視聴覚資料を用意させ、1人3分の発表とする。 ・フロアの生徒には、パネリストたちの意見で、賛成できる点、もっと詳しく聞きたい点(質問)、反論したい点に分けて聞けるようワークシートを工夫する。 ・場の設定は、パネリストとフロアの生徒が互いの顔を見てディスカッションができるように、対面式にする。 ・互いに意見交換がスムーズにできるよう、パネリストとフロアとの距離に配慮する。	③ ④
	① どんな仮説をたてましたか。(写真) ② 体験を通して得たこと・発見した課題は何ですか。(意識調査の結果) ③ あなたは「働くことと学ぶこととのつながり」についてどう考えますか。(意識調査の結果) ＜場の設定＞ 	・意識調査の結果などを提示して、意見を出しやすい環境をつくる。 ・事前に各自考えた仮説を振り返ることにより、自分の考えを確認できるようにする。 ・事前の意識調査の結果を提示し、同じような課題をもつ生徒がいることに気付かせる。 ・体験を通して広がった視点から、学ぶこととの関連について考えられるようにする。 ・少人数の班での話し合いから、理解を深められるようにする。 ・いくつかの班の話し合いを報告させる。 ⑤ 働くことと学ぶこととのつながりについて友達に意見を聞くことにより理解を深めることができたか。(発表・ワークシート) ◆働くことと学ぶこととのつながりについて理解を深め、自己の将来を考えることができるようにする。【キャリアプランニング能力】	⑤ ⑤
ま と め	4 ワークシートに記入し、自分の考えを振り返る。	・特に自分の考えが広がった発表について、ワークシートに記入する。(発表・ワークシート)	③
	5 閉会式(生徒による司会) (1) 発表 (2) 先生の話 (3) 閉会の言葉	・数名の生徒の考えを紹介する。	

(4) 事後の指導

- ・パネルディスカッションで深めた自分の考えを実践できるよう、振り返りカード等を利用し、継続的に支援・指導していく。
- ・職場体験学習で学んだことを生かして、自分たちにできることを計画し実行できるよう支援・指導していく。

